



実行できること： 糖尿病の人を知っていますか？

糖尿病との闘いは一人ひとりが取り組むことであるため、仲間のライオンズクラブ会員を含めて、糖尿病が地域の人々に及ぼしている影響を理解することが大切です。

この二部構成のグループ実習では、クラブ会員が糖尿病との個人的な関わりについて考えた上で、奉仕活動によって糖尿病への認識を高めさせ、予防を奨励し、糖尿病患者が命を救う治療にアクセスできるよう支援するためのアイデアを出し合います。

パート1

必要なもの：

- 紙またはカード
- マーカー
- クラブ会員が円になって座れるスペース

ファシリテーターの手順：

1. 参加者に円を作らせる。
2. 各参加者に紙/カード1枚とマーカー1本を配る。
3. 糖尿病との個人的な関わりについて考えるよう、参加者に求める。次のような質問をする。「皆さんと糖尿病の間には、個人的にどのような関わりがありますか？」「糖尿病にかかっている人や、かかっていた人を知っていますか？」
4. 各自の関わりについて書き留め、終わったら紙/カードを膝の上に伏せておくよう、参加者に求める。
5. 全員が書き終えたら、円を回りながら、一人ひとりにカードを上げて全員に見せるよう求める。
6. テーマを要約し、糖尿病が多くの人々の生活に及ぼしているさまざまな影響について討論を行わせる。



実行できること： 糖尿病の人を知っていますか？

パート2

クラブ会員はパート1を通して、糖尿病が仲間のライオンズに及ぼしている影響を理解しました。それを出発点に、地域社会にインパクトを与えることのできる糖尿病関連の奉仕活動について考えていきます。

ファシリテーターの手順：

1. 参加者を小グループに分ける。
2. 各参加者に新しい紙/カード1枚とマーカー1本を配る。
3. 「地域で糖尿病を予防・管理するために役立つさまざまな活動について、約15分で討論を行ってください」と、各グループに求める。
4. グループ討論が終わったら、参加者全員を集めて一つの大きな円を作らせる。
5. 各参加者に、糖尿病の予防と抑制に関して実行できることを一つ書き留めさせる。
6. 参加者を一人ずつ指名し、各自の紙を全員に見せながら、実行できることを提案してもらう。
7. 実行できるさまざまなことについて、全体で討論を行う。
8. 出された名案をすべて要約し、クラブが行える奉仕活動を絞り込んだリストを作成する。